



Yamagata University

「工学部月例記者懇談会（4月）」一覧

日 時：平成23年4月25日(月)14:00～

場 所：工学部事務棟2階第1応接室

【発表事項】

- 1 「最先端・次世代研究開発支援プログラムに採択」されました 資料1
- 2 「モバイルキッズ・ケミラボ」は今年10周年を迎えます 資料2
- 3 「平成23年度工学部
・大学院理工学研究科（工学系）教員異動者」について 資料3

【お知らせ】

- (1) (学生ボランティア)被災者に向けた
リサイクル家電・家具の無料提供等の実施報告 資料4
- (2) 平成23年度入学者数(平成23年4月入学)について 資料5
- (3) 平成23年度 工学部月例記者懇談会の予定 資料6

※ 次回の予定 5月30日(月)14:00～

田中賢教授(大学院理工学研究科)、最先端・次世代研究開発支援プログラムに採択

第96回総合科学技術会議において「最先端・次世代研究開発支援プログラムの研究者・研究課題」329件(応募総数5,618件)が決定され、理工学研究科の田中賢教授が採択されました。なお、山形県からは、田中賢教授1名のみが採択。



田中賢教授(バイオ化学工学専攻)

HP: http://bio.yz.yamagata-u.ac.jp/L_tanaka.html

研究題目名

「生体親和性を有する医療用材料設計技術の基盤構築」

本プログラムは、将来、世界の科学・技術をリードすることが期待される若手研究者・女性研究者・地域の研究機関等で活動する研究者への研究支援ならびに政府の「新成長戦略(基本方針)」(2009年12月30日閣議決定)に掲げられたグリーン・イノベーション及びライフ・イノベーションを推進することにより、中長期的な我が国の科学・技術の発展を図るとともに、我が国の持続的な成長と政策的・社会的課題の解決に貢献することを目的として創設されたものです。

[最先端・次世代研究開発支援プログラムの研究者・研究課題の決定について](#)(内閣府ホームページ)

[最先端・次世代研究開発支援プログラム](#)(日本学術振興会)

「モバイルキッズ・ケミラボ」は今年で10周年を迎えます！

米沢市教育委員会との連携事業「モバイルキッズ・ケミラボ」は、2002年より始まり今年でちょうど10年目となります。過去9年間の活動の中で、学社連携の強化、社会教育の質の充実とリーダー養成、何よりも児童生徒の科学へ興味関心の高揚となって大きな成果をあげてきました。

昨年度の参加者数は、最多記録820名に次ぐ807名という大盛況でした。参加回数で見ると4回以上のリピーター児童が圧倒的に多く、理科の楽しさを味わい、理科好きな児童が育っていることと思われまます。

今年度は10周年記念事業も加え、より一層魅力的な講座へと成長します。

【モバイルキッズ・ケミラボ 2011】

日 時：平成23年5月～11月の土曜日 午前 計14回（※詳細は裏ページ参照）

場 所：米沢市教育委員会理科研修センター

対 象：主として米沢市内小学4年生以上の児童と保護者、及び地域のリーダー

参加費：無料

その他：大学院理工学研究科（主として物質化学工学分野、バイオ化学工学分野）の教員や技術職員が、実験指導を行います。

「モバイルキッズ・ケミラボ 2010」の活動内容

(L) は、リーダーコース受講者数

	テーマ	開催月日	参加児童数	保護者 (L)	合計
第1節	あぶり出し	5/22	34	8 (1)	43
	電気パン	6/5	44	11 (2)	57
第2節		6/12	49	7 (7)	63 163
	－196℃の世界	7/3	44	14 (3)	61
	蛍の光	7/10	47	11 (2)	60
第3節		7/17	41	8 (3)	53 174
	ペットボトル噴水器	9/4	44	13 (1)	58
	オリジナルスタンプ	9/11	42	7 (5)	54
第4節		9/18	27	8 (2)	37 149
	紙おむつの吸水力	10/9	43	10 (1)	54
	3Dめがね	10/16	53	9 (4)	66
第5節		10/23	38	17 (0)	55 175
	鉛筆で電気を起こす	11/13	43	11 (0)	54
	人工いくら	11/20	30	13 (3)	46
		11/27	34	9 (3)	46 146
総計					807

お問い合わせ

米沢市理科研修センター (TEL 0238-22-5111)

H23年度モバイルキッズケミラボ2011定期開催分（案）

月/日	学習テーマ	学習内容	学習方法	講師名	時間
5/14	おいしい電気パンを作ろう	電気をつかったパン焼き器をつくり、おいしいパンを作る。	実験	山形大学大学院 理工学研究科 教授 尾形健明	2.5
5/21 5/28	オリジナル化粧品を作ろう	いろんな薬品から実際に使える化粧品を作る。	ものづくり	山形大学大学院 理工学研究科 准教授 野々村美宗	2.5
6/18 6/25	-196℃クッキング	液体窒素を使って、何でも凍らせてみる。	実験	山形大学大学院 理工学研究科 助教 川井貴裕	2.5
7/02	紅花染めのハンカチを作る	紅花を使って、木綿を染め、オリジナルハンカチを作る。	ものづくり	山形大学大学院 理工学研究科 教授 佐藤慎吾	2.5
9/03	クリップモーター	クリップ、磁石、乾電池を使って、モーターを作る	ものづくり	山形大学大学院 理工学研究科 技術部 田村恒一	2.5
9/10 9/17	光で作ろう！オリジナルスタンプ	光で性質が変わるゴムを使って、オリジナルスタンプを作る。	ものづくり	山形大学理学部 物質生命化学科 教授 鷗浦 啓	2.5
10/8 10/9	モバイルキッズ10周年記念事業	生涯学習フェアにおいて全体で15ブース程度（モバイルは8ブース）脚注参照	ものづくり 実験など	モバイルスタッフ 自然エネルギー 天文愛好会 野生動物&白猿	5.0
11/12 11/19	スーパーボールとスライムを作ろう	はずむスライムとどびるスライムをつくる	ものづくり	山形大学大学院 理工学研究科 助教 片桐洋史	2.5
11/26	3Dメガネ	赤色と青色のセロハンと画用紙で3Dメガネをつくる	ものづくり	山形大学大学院 理工学研究科 准教授 柳田裕隆	2.5

生涯学習フェア 実験メニュー（案）

スライム、偽物金メッキ、クロマトしおり、あぶり出し、静電気、レインボースコープ、入浴剤、カイロ、など

※※この他にも、例年「モバイルキッズケミラボ出前講座」として、コミセン活動、子供会活動、PTA活動等に協力し、置賜一円に活動の場の広がりを見せています。このような地域での参加者も加えると、参加者は毎年3000名を越えると思われます。

人事異動状況(山形大学工学部・大学院理工学研究科)

(平成23年3月2日～平成23年4月1日)

異動年月日	異動内容	氏名	ふりがな	現職	備考
平成23年4月1日	採用	山本 修	やまもと おさむ	大学院理工学研究科 教授 (応用生命システム工学)	秋田大学
平成23年4月1日	採用	城戸 淳二	きど じゅんじ	個別契約任期付教員 教授	～平成27年3月31日 大学院理工学研究科 教授 (有機デバイス工学)
平成23年4月1日	採用	吉武 秀哉	よしたけ ひでや	個別契約任期付教員 教授	～平成24年3月31日 宇部興産
平成23年4月1日	採用	横島 重信	よこしま しげのぶ	個別契約任期付教員 教授	～平成24年3月31日 個別契約任期付教員 教授
平成23年4月1日	採用	中林 千浩	なかばやし かずひろ	大学院理工学研究科 助教 (機能高分子工学)	
平成23年4月1日	採用	福田 憲二郎	ふくだ けんじろう	大学院理工学研究科 助教 (有機デバイス工学)	
平成23年4月1日	配置換	久保田 繁	くぼた しげる	大学院理工学研究科 准教授 (学部共通)	大学院医学系研究科 准教授

「山形大学工学部による被災者に向けたリサイクル家電・家具の無料提供」の事後報告

工学部卒業生・被災者支援チーム

この度の東日本大震災におかれまして、甚大な被害に会われた皆様に心からお見舞い申し上げます。我々、山形大学工学部卒業生・被災者支援チームは、3月19日から30日までの期間において、大震災の影響を受けて引越しを行えない学生の支援を目的として、使用しなくなった家電・家具の回収を行いました。当時、ガソリンの供給不足等の理由により、自力で家財を運搬できない学生のため、大学周辺の小学校・中学校・高校からリヤカーをお借りして回収しました。結果、延べ213名の卒業生・修了生の引越しを支援するに至りました。

同時に、同月24日から4月10日までの期間に、回収した家電・家具を被災者の方に無料提供を行いました。また、予想以上の反響により品不足になったため、メディア各社の放送によるご協力の末、学生以外の工学部教職員や一般市民の67名以上の方からの寄付を頂き、その品物数は1,200点以上に達しました。また、一般市民による運搬のボランティアとして3名の方にご協力いただきました。結果、110世帯の方に品物を提供することが出来ました。

実施において、品物の運搬や管理に必要なボランティアを募集し、学生や一般市民を合わせ、延べ30名以上のメンバーにより実施されました。小さくはありますが、学生としてできる支援活動に携わり、また、学内外の様々な方と接する機会を得ることで、多くを学ぶことが出来ました。これは、本活動に理解を示していただきました工学部教職員の方は元より、学外の様々な方の励ましやご支援があったからです。この場をお借りして感謝申し上げます。

1. 「学生の引越し支援」

期間：3月19日～30日

利用した学生数：延べ213名

回収した品物数：1,200点以上（うち、学生以外の寄付者67名、278点）

2. 「被災者に向けた家具・家電の無料提供」

期間：3月19日～4月10日

利用世帯数：110世帯

提供品数：1,150点以上

3. 利用者のコメントは別紙参照

工学部卒業生・被災者支援チーム

被災者からの感想（ほとんどが福島南相馬市出身）

- ・ 大変助かりました。ありがとうございました。（原発 20km 圏内、母子家庭、子ども 3 人）
- ・ 本当に山形、米沢の方には感謝します。大学の学生の方もとても親切で助かりました。本当にありがとうございます。
- ・ 津波により一斉流出し、この事を市より紹介され大変助かりましたと共に有り難く利用させていただきます。
- ・ とても親切でありがたかったです。皆さんの対応も親切だし、荷物も運んでもらって本当に感謝しています。物も本当に助かりました。小さい息子がいますが、将来この学生になってくれれば良いなと思いました。ありがとうございます!!!!!!
- ・ 26 日の TV（NHK か？）で見て早速来ました。86 才の母がベッドがあれば楽なので。大変助かります。ありがとうございます。
- ・ 寒い中を学生の暖かい活動に心から感謝いたします。嬉しくて涙が出ます。山形大学工学部様へ福島県人より「感謝状」です。“命の灯火”
- ・ 大変助かりました。ありがとうございました。
- ・ 大変助かり、感謝いたします。ありがとうございます。
- ・ 一から準備すると大変な額になりますのでとても助かります。大切にに使わせて頂きます。本当にありがとうございました。
- ・ 今回の皆様の協力は感謝しております。地理がわからなかった。預かった物を再びリユースするサービスがあると良い。親類と 30 人 3 部屋程度で生活。短期間でも別に暮らすために利用。また、別の被災者に譲る予定。
- ・ 福島の被災者です。とても良いものをありがとうございます。
- ・ 毎年このバザーに助けられてます。今回は地震もあって、多くの人に喜ばれるイベントだと思います。僕自身も助かりました。ありがとうございました。
- ・ とても助かります。知り合いを訪ねてきましたが、長期になると、なにぶんご迷惑をかけるので、わがままできずにいました。ありがとうございました。
- ・ すごく助かりました。
- ・ 大変助かりました。
- ・ 本当に助かりました。皆様の善意が本当にありがたいです。学生の皆様のご親切に感謝致します。ありがとうございました。

- ・ 住居が決まり次第引き取りに伺いますので、それまで宜しくお願い致します。家に戻れないので揃える覚悟をしてましたが、大変助かりました。学生の皆さん本当にありがとうございます。喜んで使わせていただきます。
- ・ 避難している多くの人達がとても助けられています。感謝しています。
- ・ 入居先が決まったら発送などもあると良い。

卒業生からの感想

- ・ 本当に助かりました
- ・ とても有り難かったです。
- ・ TEL 後直ぐに対応して頂いて助かりました。
- ・ リヤカー貸出が役に立った。
- ・ 頑張ってください！皆喜んでと思います！
- ・ ありがとう！お疲れ様です！
- ・ 良い活動なので続けてほしい。
- ・ 助かります。
- ・ 大変助かりました。本当にありがとうございます。
- ・ 助かりました。
- ・ 親切にありがとうございます。
- ・ 友人から聞けなかったら知ることができなかった。もっと大々的な掲示をお願いしたい。
- ・ 良かったです。
- ・ 費用的に厳しいかも知れませんが、軽トラなどがあるととっても楽になると思います。リヤカーだと限度があるので。
- ・ 本当に助かります。ありがとうございました。
- ・ 困っていたので助かります。
- ・ 大変助かりました。ありがとうございました。
- ・ 部屋から運んでくれて助かりました。これからも頑張ってください。
- ・ 助かります。
- ・ このようなサービスは大変助かります。ありがとうございます!!

一般寄付者の被災者に向けた励ましの言葉

- ・ 共に頑張ってくださいと思います。

- ・ 早い復旧が出来る事を心よりお祈り申し上げます。
- ・ 声をかけ合ってがんばって下さい。
- ・ 大変ですが、いつか戻れます。頑張ってください。
- ・ 大変だと思いますが、頑張ってください。
- ・ がんばって下さい。
- ・ 頑張ってください。
- ・ がんばれ東北!!!
- ・ どうぞ力を落とさず、がんばって下さい。
- ・ 新しい生活を米沢でがんばって下さい。
- ・ がんばれ東北。
- ・ 頑張れ東北
- ・ 健康に気をつけてがんばって下さい。
- ・ 今回の震災について、心からお見舞い申し上げます。米沢に一時的に住まわれる方々の助けになれば幸いです。
- ・ 応援しております。
- ・ 大変な思いをされていると思いますが、がんばってとしか言いようがないです。ありき
たりで×かとは思われるかも知れませんが、それしか言いようがないのでご免なさい!!
- ・ 少しですが、活用していただけると嬉しいです。
- ・ くじけずに頑張ってください。(米沢市)
- ・ いっしょにがんばっていきましょう!(米沢市女性)
- ・ 希望を捨てないで。(米沢市男性)
- ・ 体に気をつけて過ごしてください。(米沢市女性)
- ・ これから良い季節になって来ます。もう少し頑張ってください。(米沢市女性)
- ・ 頑張ってください。皆さんと共にいます。(米沢市男性)
- ・ 頑張ってください。(米沢市男性)
- ・ 何もお手伝いできませんが、へこたれないで下さいね。(川西町男性)
- ・ 今回の被災で大切な人、物、多くのことが一瞬にして失われた方々に思いを致すと、同
言葉で表現したらよいか分からない状態です。せめて、何かお役に立てればと思います。
みんなで前を向いて進んでいきましょう。(米沢市女性)
- ・ 私達が出来るとは、やっています。情報があれば、協力できることをやっていますま
すので、一緒にがんばっていきましょう。(米沢市女性)

- ・大変でしょうが元気を出して前に進んで下さい。(米沢市女性)
- ・頑張ってください。(米沢市男性)
- ・早く、元の生活に戻れるように私も精一杯お手伝いさせて下さい。一緒に頑張りましょう。(米沢市男性)
- ・負けないで下さい。(東根市男性)
- ・早く復旧できるように祈っています。(米沢市男性)

一般寄付者の感想

- ・とても良いアイデアだと思いました。
- ・とてもよい事だと思います。これからもよろしくお願いします。
- ・たいへん良い取り組みと思います。
- ・とてもよいことだと思うので、がんばってほしい。
- ・「卒業生・被災者の引越し支援」がある事を、今回初めて知りました。震災に会っても入学を希望する方々の為にも、長期の支援活動を希望します。
- ・素晴らしい活動だと思います。
- ・素晴らしい取り組みだと思います。
- ・素晴らしい心身だと思います。(米沢市)
- ・とてもよい活動だと思います。少しでも協力できたら嬉しいです。(米沢市女性)
- ・どこかでやっている所がないかな、と思っていたことを、学生さんたちがされていて、心強く思いました。寒い中、みなさんお疲れ様です！(米沢市・女性)
- ・お疲れ様です。(米沢市男性)
- ・情報が広くあれば、一般市民でも出来ることはたくさんあります。私達は、科学フェスティバルで子供達にたくさん勉強を教えてもらい、何かできることがあればしたいと思います。情報が広まる新聞などで協力を求めてほしいです。(米沢市女性)
- ・時間に余裕のある方がお手伝いした方がよいと思います。大変よいことだと思います。(米沢市女性)
- ・非常に良い活動だと思います。頑張ってください。(米沢市男性)
- ・ボランティアの皆さんも頑張ってください。(米沢市男性)

平成23年4月1日現在

平成23年度入学者数について（平成23年4月入学）

■工学部

コース	学科	入学定員	入学者数（*1）
昼間 コース	機能高分子工学科	110	115
	物質化学工学科	75	86 (1) <1>
	バイオ化学工学科	60	64
	応用生命システム工学科	60	68
	情報科学科	75	78
	電気電子工学科	75	75
	機械システム工学科	115	120 <4>
	小計	570	606
フレックス コース	システム創成工学科	50	50
	小計	50	50
合計（昼間+フレックスコース）		620	656 (1) <5>

*1 ()内の数字は、私費外国人留学生で内数です。
< >内の数字は、政府派遣留学生で内数です。

■工学部（3年次編入学）

コース	学科	募集人員	入学者数
Aコース	機能高分子工学科	若干人	4
	物質化学工学科		4
	機械システム工学科		4
	電気電子工学科		4
	情報科学科		2
	応用生命システム工学科		3
	小計	若干人	21
合計（Aコース）		若干人	21

■大学院理工学研究科

課程	学科	募集人員	入学者数
博士前期課程 （工学系）	機能高分子工学専攻	30	35
	有機デバイス工学専攻	25	29
	物質化学工学専攻	38	30
	バイオ化学工学専攻	28	32
	応用生命システム工学専攻	23	25
	情報科学専攻	28	40
	電気電子工学専攻	34	41
	機械システム工学専攻	50	61
	ものづくり技術経営学専攻	14	12
		小計	270
博士後期課程 （工学系）	有機材料工学専攻	9	13（進6）
	バイオ工学専攻	4	3（進1）
	電子情報工学専攻	5	2（進1）
	機械システム工学専攻	4	2（進1）
	ものづくり技術経営学専攻	4	1（進0）
	小計	26	21（進9）

【平成23年度 工学部月例記者懇談会開催予定】

4月25日(月)	14:00~14:30
5月30日(月)	14:00~14:30
6月27日(月)	14:00~14:30
7月25日(月)	14:00~14:30
8月29日(月)	14:00~14:30
9月26日(月)	14:00~14:30
<u>10月24日(月)</u>	14:00~14:30
11月28日(月)	14:00~14:30
12月26日(月)	14:00~14:30
1月30日(月)	14:00~14:30
2月27日(月)	14:00~14:30
3月26日(月)	14:00~14:30

※原則として、定例を毎月最終月曜日の14時00分から開催します。
変更がある場合は、随時ご連絡いたします。